第４学年〇組　音楽科学習指導案

指導者　〇〇　〇〇

1　題材　「雨の降る様子の音楽をつくろう」

2　題材の指導目標

〇　風景に合った音楽のイメージを豊かに膨らませ、簡単な音や音楽を作って表現することに関心をもち、創造的に音楽づくりに取り組もうとしている。　（関心・意欲・態度）

〇　互いに工夫した音楽のよさや美しさを感じ取り、より様子に合った美しい表現をめざして工夫を重ねることができる。（感受・表現の工夫）

3　題材の指導計画

		学習活動	音楽づくりの活動		音楽づくりの内容	教師の指導
一次	一時	「雨の降る様子を音で表そう」 1.　音を出して雨の音のイメージと合わせる。	音づくり	〇音の特徴特質を擬音化する 〇手掛かりとなる言葉から表現したいイメージを持つ	〇 音素材 〇 イメージ	〇音を擬音化し、音の高低や残響などの雰囲気をつかませる（ア・手） 〇どんな楽器が合うのか試す時間を設ける。 〇楽器やリズム、マレットなどの選択肢への助言を行う。
		「選んだ楽器で表そう」 2. 選んだ楽器の音を使って雨の降る様子を音楽の要素を使って表現する。音にする。 3. いろいろな雨の様子の違いを考え、奏法の違いを考える。 「グループで発表しよう」 4. グループで、イメージに合った表現を発表したり、他のグループの工夫を知ったりする。		〇音を組み合わせたり、簡単な音の動きを作ったりする。 〇つくった旋律を鑑賞し，工夫した点を発表し合う	〇 音楽を特徴付けている要素 旋律，リズム，強弱，音高 〇 イメージ 雨の音から表現したいイメージ 〇 音楽を特徴付けている要素	〇手掛かりとなる言葉をもとに，音楽の要素と関連付けさせながら旋律をつくらせる（言葉の抑揚，擬音語，）（ア・手） 〇自己の持つイメージを言語化等によって明確にさせ，つくった旋律から受けるイメージと比較させる（イ） 〇工夫した点の発表を，音楽の要素と関連付けて説明させる（味）
二次	一時（本時）	「雨の降る様子の音楽をつくろう」 5.　グループで，つくった音を持ち寄り，まとまりのある雨の音楽づくり	音楽づくり	〇音楽の構成を工夫し，まとまりのある音楽づくり	〇 音楽の仕組み・構成原理 つくった音を反復・変化させながら組み合わせる 〇 イメージ 雨の降る様子のイメージから，始まり方と終わり方などの構成を工夫する	〇表現したいイメージから全体の構成を考えさせ，音を反復・変化させて組合せながら音楽にしていく（ア・手）
		6. つくった音楽を発表したり、音楽表現から様子を感じ取ったりする。		〇作品を鑑賞し，工夫した点を発表し合う	〇 音楽の仕組み・構成原理	〇音楽の構成で工夫した点を，音楽の仕組みと関連付けて説明させる（味）

4　本時　９月２５日（金）６校時　音楽室

1）本時の目標

〇　雨の降る様子のイメージをふくらませて、音楽をつなげて表そうと取り組んでいる。（関心・意欲・態度）

〇　自分のグループの他のグループの奏法を見直し、風景のうつりかわりを工夫して表現することを考えたり、感じ取ったりすることができる。（感受・表現の工夫）

〇　イメージした場面に合うように音をつなぎ合わせたり、速度や強弱を工夫してつなぎ合わせたりして、音をさらに場面に合った音楽に構成することができる。（表現の技能）

2）準備　　移動黒板、移動掲示板、楽器、マレット、スティック、図形楽譜、情景画、学習プリント、

3）展開

学習活動	音楽づくりの活動	音楽づくりの内容	教師の指導・◇評価
1　前時の活動を振り返り、本時学習のめあてをたてる。 （1）　前時の活動でつくった表現を想起する。 ○　雨が降っている雰囲気が表現されていること。 ○　演奏されている楽器の種類、奏法。 （2）　本時学習のめあてをたてる。 雨の降る様子の音楽をつくろう。		自己のもつイメージ 音楽の要素	○本時のめあてをつかませるために、雨の降っていく様子を想像させる。 ◇表現した楽器の種類や奏法を想起し、本時のめあてを理解している。〈関心・意欲〉 （発言・表情観察）
2　場面と場面の流れを考え、楽器で表現する。 （1）　グループでいろいろな雨が降る様子を重ねて演奏する。 ○　雨の降る様子に合った強弱や速さを選ぶ。また演奏方法を考える。 ○　自分の想像する雨の場面を確かめ、意識して表現すること。 （2）　雨の様子をつなげて発表し、よりよい表現を工夫する。 ○　各グループの表現の工夫を確かめること。 ○　各グループの表現を再構成する。	○音楽の構成を工夫し，まとまりのある音楽づくり。	音楽の要素 音素材 イメージ 音素材 イメージ	○前時に使った楽器を選ぶことができるよう準備しておく。 ○雨が降っていく様子の流れを確認するためにカードを黒板に掲示する。 ○教師⇔子ども、子ども⇔子どもの相互評価ができるように聴き合うことができるような場の設定を行う。 ◇強弱や速さを工夫して組み合わせている。〈感受・表現の技能〉 （発言・表情観察） ○強弱、速さ、音色や音の高低などの工夫した視点をもたせる。 ○場面に合わせた表現の工夫を意味づけできるように，視点をカードに起こして発言しやすくしておく。 ○「より速く」「より強く」など全体を考えて構成できるように前の場面と比べる声かけをする。 ◇　音楽の特徴を意識して演奏ことができる。また意識して聴くことができる。 〈感受〉 （発言・表情観察）
3　表現に向けての想いをまとめ、本時学習をまとめる。 （1）「雨の降る様子の音楽」を表現し、聴き合う。 ○　グループや全体の中で自分の役割を演奏する。 （2）本時での学びをふりかえる。 ○　音楽のつなぎ方を考え出したこと。 ○　自分の考えた場面に合わせて、強弱や速さを工夫できたこと。 ○　他の音楽もつくってみたいという意欲をもつこと。	○作品を鑑賞し，工夫した点を発表し合う	音楽を特徴付けている要素 音楽を特徴付けている要素	○工夫したところを伝えあう場の設定を行う。 ○工夫した点の発表を，音楽を特徴付けている要素と関連付けて理解させるために説明する場を設ける。 ○表現したいイメージがどの要素と結びつけられているかに気をつけて鑑賞させる。 ◇音楽を特徴付けている要素を聴き取り，どんな様子を表すことができているか聴き取ることができる。